

神奈川県農業技術センター

かながわ農業を支える
技術開発と普及

Kanagawa Agricultural Technology Center



ジョイントV字トレリス樹形

神奈川県農業技術センターでは、
技術開発と普及指導及び
担い手育成をとおして、
都市と共存し、産業として自立した
「かながわ農業」の実現を目指します。
また、県民に開かれたセンターを目指し、
積極的な情報提供をしています。



↑トマト「湘南ポモロン」



ナス「サラダ紫」

ナシ「香麗」→

神奈川県農業技術センター

■ 本所

- 管理課
- 企画経営部 (研究企画担当、普及企画担当、経営情報担当)
- 生産技術部 (野菜作物研究課、果樹花き研究課)
- 生産環境部 (土壌環境研究課、病害虫研究課、品質機能研究課)
- 普及指導部 (野菜課、果樹花き課、作物加工課)
- 病害虫防除部 (予察・防除指導班、農薬・肥料班)

■ 横浜川崎地区事務所

■ 北相地区事務所 (研究課、普及指導課)

■ 三浦半島地区事務所 (研究課、普及指導課)

■ 足柄地区事務所 (研究課、普及指導課)

農業活性化を支える研究・普及

農業の活性化による地産地消の推進
— 医食農同源による県民の健康増進 —

目標年度 令和 8 年(2026年)

3つの視点で取り組む基本的施策

1 県民ニーズに応じた農畜産物の生産と利用の促進【消費】	2 安定的な農業生産と次世代への継承【生産】	3 環境と共存する農業【環境】
<ul style="list-style-type: none"> ● 県民の求める食の提供 ● 農畜産物のブランド力の強化と6次産業化の推進 ● 食の安全対策と食育の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規就農の促進と中核的経営体の育成 ● 「トップ経営体」の育成 ● 畜産経営の体質強化に向けた総合的な取組 ● 女性の力を活かした経営発展の促進 ● 技術開発と経営安定の取組 ● 生産基盤の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 農地等の活用・保全 ● 農業体験と交流の場の確保 ● 環境保全型農業と畜産環境対策の推進 ● 鳥獣被害対策の推進

研究推進構想の研究目標

神奈川の強みを活かした農業を技術面から支援します。

- 1 地産地消を推進するための技術開発
- 2 農産物の生産段階における安全・安心を確保するための技術開発
- 3 農業経営の高度化と安定化を促進するための技術開発
- 4 多様な担い手を育成・確保するための技術開発
- 5 未利用資源を有効活用するための技術開発
- 6 環境に調和する農業を推進するための技術開発

普及実施方針

試験研究部門等関係機関と連携し、技術指導を軸とした普及活動を展開します。

- 1 担い手の育成・確保に関する支援
- 2 県民の需要に応じた農畜産物の生産・販売の取組に対する支援
- 3 農業技術の高度化及び持続可能な農業生産の取組に対する支援
- 4 安全・安心な農畜産物の供給の取組に対する支援
- 5 地域農業の振興を図るための取組に対する支援

主な育成品種

■ 野菜

キュウリ「相模半白」
 タマネギ「湘南レッド」
 スイカ「ラグビーボール」
 イチゴ「紅寿」
 サトイモ「神農総研1号」
 タマネギ「早生湘南レッド」
 カラシナ「大山そだち」
 カラシナ類「さがみグリーン」
 ネギ「湘南一本」
 ナス「サラダ紫」
 トマト「湘南ポモロン・レッド」
 トマト「湘南ポモロン・ゴールド」
 ダイコン「湘白」

■ 果樹

ナシ「あけみず」
 カンキツ類「湘南ゴールド」
 キウイフルーツ「片浦イエロー」
 ウメ「十郎小町」
 ウメ「虎子姫」

ナシ「なつみず」

ナシ「香麗」

■ 花き

バラ「ブライダルソニア」
 バラ「フレンドソニア」
 バラ「湘南ファンタジー」
 アマリリス「スカーレットニノミヤ」
 バラ「ブライダルファンタジー」
 バラ「ラブミーテンダー」
 バラ「スターメイン」
 スイートピー「アルテミス」
 スイートピー「湘南オリオン」
 バラ「湘南キャンディレッド」
 スイートピー「リップラベンダー」
 スイートピー「リップルショコラ」
 スイートピー「リップルピーチ」
 バラ「湘南キャンディルージュ」
 バラ「湘南キャンディピンク」
 スイートピー「スイートピンク」
 スイートピー「スイートスノー」

バラ「マリアージュシャルマン」
 スイートピー「スプラッシュブルー」
 スイートピー「スプラッシュパープル」
 スイートピー「スプラッシュレッド」
 スイートピー「スプラッシュヴィーノ」

■ 観賞樹

モモ「照手白」
 モモ「照手桃」
 モモ「照手紅」
 モモ「照手水蜜」
 モモ「照手姫」
 サルスベリ「ディアパープル」
 サルスベリ「ディアルージュ」
 サルスベリ「ディアウィーピング」
 アオキ「湘南ひこぼし」
 アオキ「湘南おりひめ」
 ヤボンノキ「八剣枝垂れ」

開発特許

茶におけるγ-アミノ酪酸の蓄積方法
 作物の栽培装置 ※(登録申請中)

花卉の育苗方法および育苗システム

樹木の樹体ジョイント仕立て法

沿革

明治 29 年	(1896)	農事試験場創設 横浜市岡野
明治 41 年	(1908)	橘樹郡保土ヶ谷町へ移転
大正 11 年	(1922)	鎌倉郡大船町岡本へ移転
昭和 28 年	(1953)	農業試験場と改称
昭和 34 年	(1959)	平塚市寺田縄へ移転
昭和 44 年	(1969)	農業総合研究所と改称
平成 7 年	(1995)	農業総合研究所、園芸試験場および蚕業センターを統合。平塚市上吉沢へ移転
平成 17 年	(2005)	農業総合研究所、肥飼料検査所、6 地域農業改良普及センターを統合 農業技術センターを設置 平塚市上吉沢
平成 19 年	(2007)	病害虫防除所を統合
平成 25 年	(2013)	4 研究部を企画経営部、生産技術部、生産環境部に再編

公開施設 (オープンラボトリー)

県民の方が自主的に調査、技術の習得、新製品の試作などを行うことができる開放実験室です。



農産加工実験室

農産物の加工技術を習得するための支援、地域の特産品となる新製品の開発や試作を行うことができます。



生物工学実験室

養液管理や生長点培養などの技術について調査・習得することができます。

企画経営部

農業技術センターで実施している試験研究や農業の普及指導活動に関する総合的な企画、調整、県農林水産系試験研究機関相互の連絡・調整及び試験研究と普及指導に関する広報等を行っています。
また、農業経営及び安全・安心な農産物を県民へ届けるための流通に関する調査・研究を行っています。



施設の一般公開

生産技術部

かながわ特産品の創出を目指した新品種育成や地産地消を拡大するための生産技術及び省力化・省エネ等に関する技術を開発する試験研究を行っています。

樹体ジョイント仕立て法の研究開発

ICT(情報通信技術)を活用したスマート農業



ナシの樹体ジョイント仕立て法



(左上) ICT技術を活用した温室(右)作業の様子
(左下)栽培の様子(中下)環境モニター室

野菜、果樹、花き・観賞樹の新品種育成



ダイコン「湘白」 ネギ「湘南一本」 ナス「サラダ紫」



ウメ「十郎小町」



ナシ「香麗」

トマト「湘南ポモロンシリーズ」
ゴールド(左)レッド(右)→



ヤボンノキ
「八剣枝垂れ」 ↓



スイートピー「スプラッシュレッド」(左上)
「スプラッシュブルー」(右上)
「スプラッシュパープル」(左下)
「スプラッシュヴィーノ」(右下)



生産環境部

環境にやさしく、品質や生産性と調和した病害虫防除・施肥方法等の農業生産技術や、安全・安心でおいしい農産物を提供するための品質評価技術等の試験研究を行っています。

難防除病害虫に対する 対策技術の開発



赤色ネットによる害虫防除試験



トマト黄化葉巻病



ウイルスを媒介する
タバココナジラミ

効率的な適正施肥技術の開発・ 農耕地の定期的な土壌調査



現地での土壌調査

バイオテクノロジーを活用した 研究



育成品種判別のための
DNA マーカーの開発

農産物・農産加工品の品質評価・品質保持技術・ 加工品の開発



メロン用非破壊
糖度計の開発



NPO 法人と共同で開発した
ミカン加工品

普及指導部

湘南・県央地域の農業者への新しい生産技術の導入や、地域特産品の販売に対する助言指導等、技術普及や経営改善のための支援を行っています。



花き鉢物生産者への技術経営指導



ICTの導入活用への指導



小麦の栽培指導

病害虫防除部

農産物を安定的に生産できるように、病害虫の発生状況やその防除方法に関する情報提供や、農薬取締法及び肥料取締法に基づく立入検査や講習会を行っています。



施設イチゴでの病害虫調査
予察灯による水稻の害虫調査



農薬安全使用に係る講習会

地区事務所

横浜川崎地区事務所

横浜市、川崎市の農業者への新しい生産技術の導入や、地域特産品の販売等に対する助言指導など技術普及や経営改善のための支援を行っています。



担い手育成のためのセミナー



ナスの栽培指導



加工原料農産物（ラッキョウ）の収穫調査



ナシ持寄り品評会での審査

北相地区事務所

北相地域の果樹や野菜・山菜等に加え県全域の茶の生産技術に関する試験研究の他、農業者への技術普及や経営改善のための支援を行っています。



リンゴのジョイント栽培試験



茶の品種適性試験・栽培技術の開発



地域特産物（ヤマトイモ）の新技術導入講習会



新規就農者を対象とした基礎セミナー

三浦半島地区事務所

ダイコン、キャベツ、スイカ、カボチャ、メロン等の主要作物の生産技術に関する試験研究の他、三浦半島地域の農業者への技術普及や経営改善のための支援を行っています。



カボチャの作期拡大のための栽培方法の検討



緑肥・カバークロップの管理指導



三浦ダイコンの改良、系統保存



GAP認証の取得にむけた指導

足柄地区事務所

カンキツ、キウイフルーツ等に関する試験研究の他、県西地域の野菜や花き、カンキツ、ウメ等の主要作物に加え、県全域の茶の栽培に関する技術普及や経営改善の支援を行っています。



湘南ゴールドの収穫調査



茶園管理講習会の様子



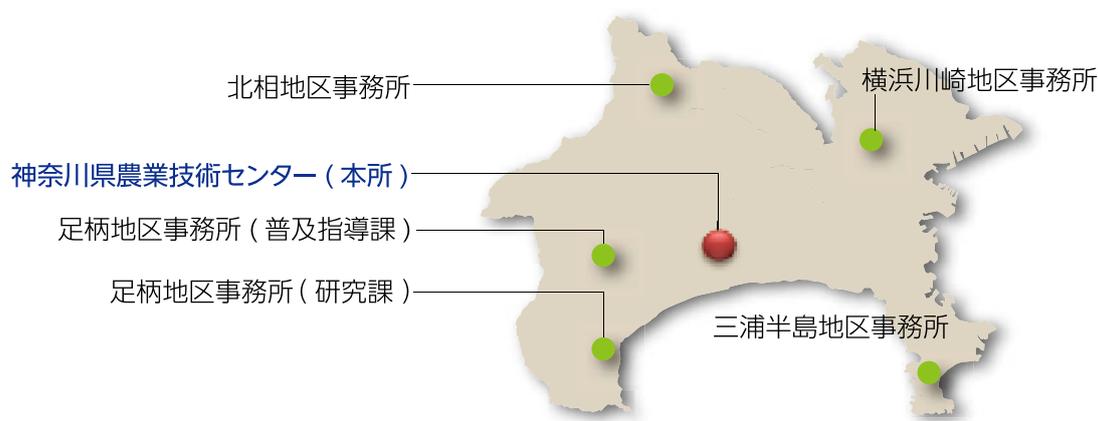
あしがらイチジクの品質を確認する普及指導員



新規就農者への巡回指導

連絡先 ■ 施設概要

名称・住所	電話番号・FAX	土地	建物	棟数
■ 神奈川県農業技術センター（本所） 〒259-1204 神奈川県平塚市上吉沢 1617	電話 0463-58-0333 FAX 0463-58-4254	191,821㎡	22,346㎡	85棟
■ 横浜川崎地区事務所 〒226-0015 横浜市緑区三保町 2076 (横浜農業合同庁舎内)	電話 045-934-2374 FAX 045-931-8246	—	専有面積 231㎡	—
■ 北相地区事務所 〒252-0176 相模原市緑区寸沢嵐 620-2	電話 042-685-0203 FAX 042-685-2224	34,836㎡	1,128㎡	11棟
■ 三浦半島地区事務所 〒238-0111 三浦市初声町下宮田 3002	電話 046-888-3385 (代表・研究課) 046-888-3324 (普及指導課) FAX 046-888-1509	27,997㎡	2,018㎡	13棟
■ 足柄地区事務所（普及指導課） 〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島 2489-2 (足柄上合同庁舎内)	電話 0465-83-5111(代表) FAX 0465-83-7214	—	専有面積 314㎡	—
■ 足柄地区事務所（研究課） 〒250-0024 小田原市根府川 574-1	電話 0465-29-0506 FAX 0465-29-0019	32,056㎡	1,727㎡	15棟



本所への交通案内

公共交通機関利用

- JR 平塚駅 → 吉浜
北口バス乗り場（神奈中バス）
・ 神奈川大学校舎前行
（37・38 系統）
吉浜下車徒歩 5 分
- 小田急秦野駅 → 吉浜
北口バス乗り場（神奈中バス）
・ 神奈川大学校舎前行（38・39 系統）
終点で平塚駅北口行に乗り換え
吉浜下車徒歩 5 分
- 中沢橋経由
秦野駅南口行（76 系統）
吉浜下車徒歩 5 分
- 中沢橋経由 平塚駅北口行（76 系統）
吉浜下車徒歩 5 分

お車等利用

- 東京方面から
小田原厚木道路
平塚 IC より約 20 分
- 名古屋方面から
東名高速道路
秦野中井 IC より約 30 分



神奈川県

発 神奈川県農業技術センター

平塚市上吉沢 1617 電話 (0463)58-0333 FAX (0463)58-4254

<http://www.pref.kanagawa.jp/div/1611/>

